



# 十日赤みえ 2023年度



出前授業（イラストの中できけんな場所はどこかな？）

Instagramはじめました!

活動やイベント・キャンペーン  
の情報を発信中!  
フォローよろしく  
お願いします!!



JRC\_MIE

## CONTENTS

### 特集 あなたの街の赤十字です

- 災害発生時には直ちに出勤！医療救護班任命式が行われました
- 令和4年度三重県支部収支報告
- 三重県の新しい赤十字活動拠点を建設中です
- 赤十字でつなぐ思い 遺贈・相続財産寄付を受け付けています。
- アンケートへのご協力をお願いします

# あなたの街の赤十字です



赤十字は災害が起きた時に駆けつけるだけではありません。365日、それぞれの部門がそれぞれの場所で動き続けています。どんな状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ること。その使命を胸に、三重県でも赤十字は動き続けています。その活動の一部をご紹介します。

## 白杖を使った歩行や車いす体験



JRC加盟校とは、赤十字の活動に賛同し、学校生活の中で赤十字活動を行っている学校のことだよ。毎年、年度初めに加盟登録をお願いしています。

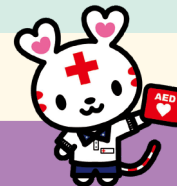
## 住んでいる街の危険について考える 防災セミナー



災害時に必要な情報を地図に落とし込み、「見える化」

7月に松阪市北部商工会の皆さんを対象に防災セミナーを開催し、「災害想像ゲームDIG」という手法を使った図上訓練を行いました。このゲームではテーブルに広げた周辺の地図を囲み、河川や道路、狭い路地など地域の構造や自然条件について色を塗り、危険な場所や防災施設にマークをします。「見える化」した情報をもとに、災害発生時に地域で起こり得る被害を考え、最小限に防ぐための具体的な対策を話し合いました。防災セミナー内でのグループワークや情報共有を通して、防災への意識や地域の方々との繋がりを作ることができました。

## 子どもの応急手当について学ぶ 幼児安全法講習

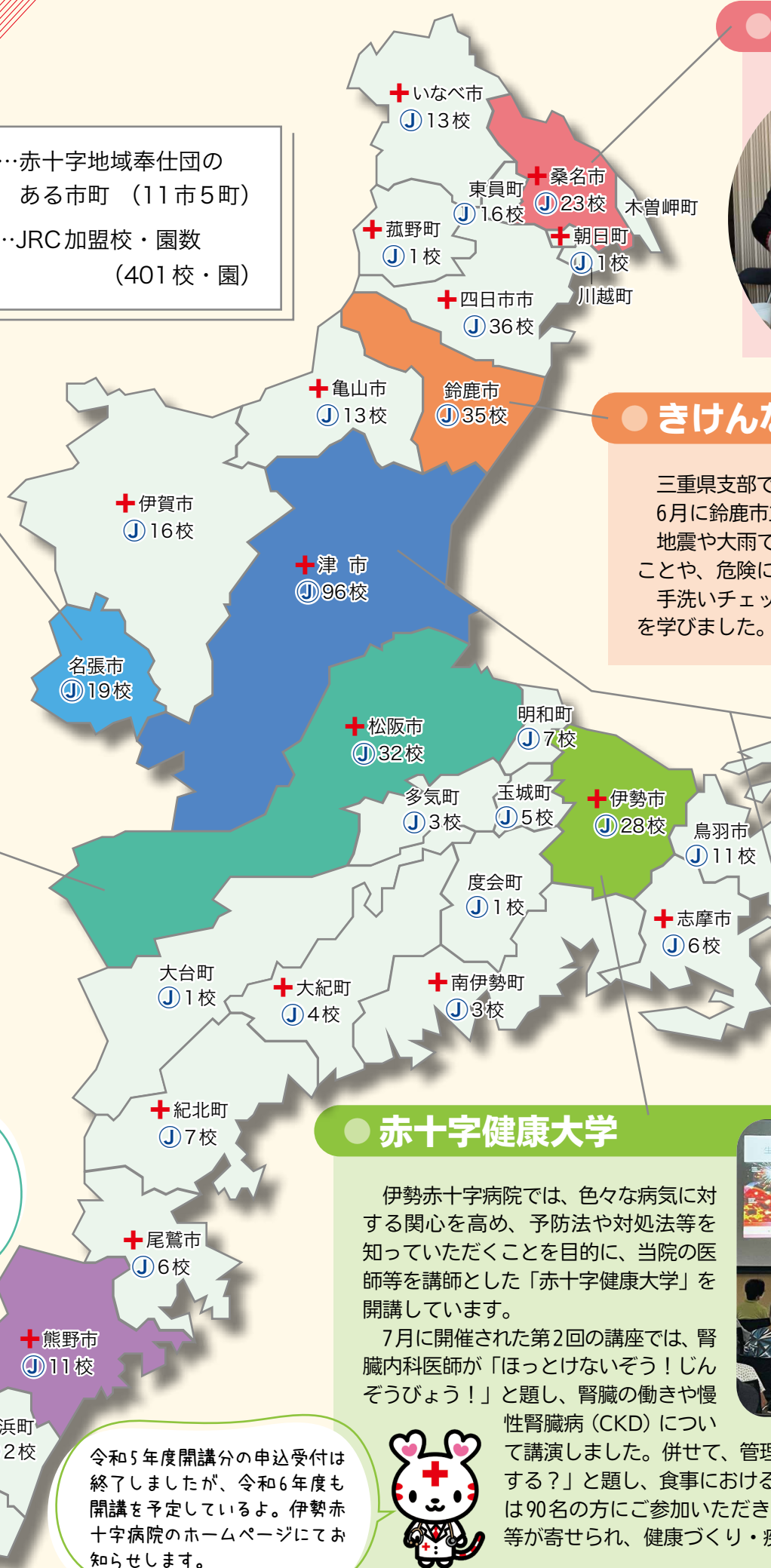


赤十字では防災や健康に関する講習会を行っているよ。学校や自治会への講師派遣もしているので、お気軽にお問い合わせください。



赤十字では、子どもの発達段階ごとの特徴や起こりやすい事故の予防と手当などの知識と技術を学ぶ幼児安全法の講習を実施しています。日赤三重県支部では、県内のファミリー・サポート・センターと協力して、子育て中の方やこれから子育てをされる方等を対象に子育てに関する養成講座を開催しています。5月に熊野市で開催した講習会では、AEDを使った乳幼児・幼児の一次救命処置を学んでいただきました。

赤十字地域奉仕団のある市町 (11市5町)  
JRC加盟校・園数 (401校・園)



## ハイゼックスを使った非常食炊き出し体験



赤十字には各地域で活動する地域奉仕団やさまざまな専門技術や職業を活かして活動する特殊奉仕団など、県内で約3,000名の赤十字ボランティアが活動しています。5月には「つながるぼうさいフェス あそ防災」に桑名市地域奉仕団が参加しました。来場した皆さんにハイゼックス(炊飯袋)を使用したお米の炊き出し体験や、試食を実施し、参加者からは、「ハイゼックスで初めてご飯を食べました。防災体験ができ、良かったです」「ハイゼックス袋で炊いたご飯がとてもおいしかったです」と言ったお声をいただきました。



ハイゼックスとは研いだお米と水を袋に入れ、煮るだけでお米が炊ける袋だよ。炊いたお米は個包装だから、被災地でも衛生的に食べれるんだ。

## きけんな場所はどこ？ 災害についての出前授業

三重県支部ではJRC加盟校に出前授業を行っています。6月に鈴鹿市立川小小学校で防災と手洗いについての授業をしました。地震や大雨で災害が起こりそうになっている街のイラストを見て災害時にすべきことや、危険にどう備えるかを考えました。手洗いチェッカーを使った手洗い講習も行い、子どもたちは正しい手洗いの方法を学びました。



倒れている人・けがをしている人への応急手当

## 体験しながら学ぶ リーダーシップ・トレーニング・センター



障害のある方の体感をし、そのサポートについて考えます

(高校トレセン)

4年ぶりに2泊3日の宿泊を伴う青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(以下、トレセン)を実施しました。小・中・高等学校の各校種に分かれ、児童・生徒61名や指導者、赤十字ボランティアが参加しました。トレセンで学ぶ「リーダー」とは、集団やチームの先頭に立ち、組織を引っ張っていくリーダーではなく、一人ひとりがリーダーで、全員がリーダーシップをもち協力をして目標を達成できる子どもたちを育成することを目的としています。トレセンのプログラムの一つであるV・S(ボランティア・サービス)では指示のない生活の中で自ら気づき・考え・実行することを身につけ、3日間学んだことを、フィールドワークやワークショップを通して振り返り、これまでの研修をふまえ、各自が今後どのような行動をしていくのか考えました。



(小学校トレセン)

## 赤十字健康大学

伊勢赤十字病院では、色々な病気に対する関心を高め、予防法や対処法等を知っていただくことを目的に、当院の医師等を講師とした「赤十字健康大学」を開講しています。

7月に開催された第2回の講座では、腎臓内科医師が「ほっとけないぞう! じんぞうぶよう!」と題し、腎臓の働きや慢性腎臓病(CKD)について講演しました。併せて、管理栄養士が「腎臓病っていわれたら食事どうする?」と題し、食事における減塩の工夫等について紹介しました。当日は90名の方にご参加いただき、また、講演後には多くの参加者から質問等が寄せられ、健康づくり・疾病等の予防への関心の高さが伺えました。



令和5年度開講分の申込受付は終了しましたが、令和6年度も開講を予定しているよ。伊勢赤十字病院のホームページにてお知らせします。



## 夏休み献血親子教室

三重県赤十字血液センターでは、8月に「夏休み献血親子教室」を開催し、11組の親子(総勢25名)に血液や献血について楽しく学んでいただきました。このイベントは健康やいのち、思いやりの大切さを考える機会となるとともに、献血の大切さについて呼びかけたり、献血ができる年齢になった時に献血に協力したりすることを願って開催しています。



当日は血液の働きや役割、体の中に流れている血液の量、なぜ献血が必要かなどを学んだり、「血液型の判定」を目の前で看護師が実演し、クイズ形式で何型に判定されたかを一緒に考えたりしました。また、採血室での献血の様子や、医療機関に届ける血液を保管する専用の冷蔵庫や冷凍庫を見学しました。



# 災害発生時には直ちに行動！ 医療救護班任命式が行われました



伊勢赤十字病院にて救護班任命式が行われました。

救護班は、1班6名（医師1名、看護師長1名、看護師2名、主事（事務員）2名）で構成されています。

三重県支部では救護班を9個班で編成しており、災害発生時には直ちに被災地に派遣し救護活動に当たります。

## 災害が起こったら…

赤十字の医療救護班は、全国に配備されているため、国内のどこで災害が起きてもすぐに現地へ駆けつけることができます。

またその他にも救援物資の配付、血液製剤の供給、義援金の募集・配分など幅広い活動を行います。

受付中の災害義援金はこちら



被災地域で在宅避難者を訪問する救護班



救援物資を積み込む日赤職員



被災地のようす

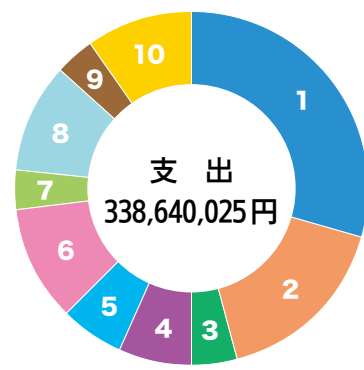
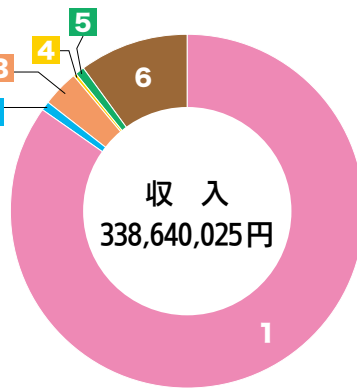
## 活動資金にご協力いただき、ありがとうございました

### 令和4年度三重県支部収支報告

支部・管下施設の令和4年度収支決算については、集合型にて実施された評議員会にて、承認されました。

県民の皆さまからのご支援により、令和4年度も赤十字活動を展開することができました。温かいご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

あなたかご支援  
ありがとうございます



| 項目              | 金額 (円)             | %            |
|-----------------|--------------------|--------------|
| 1 活動資金収入        | 287,815,631        | 85.0         |
| 2 委託金・補助金・交付金収入 | 2,253,145          | 0.7          |
| 3 繰入金収入         | 11,414,254         | 3.4          |
| 4 資産収入          | 966,540            | 0.3          |
| 5 雑収入           | 2,962,624          | 0.9          |
| 6 前年度繰越金        | 33,227,831         | 9.7          |
| <b>収入合計</b>     | <b>338,640,025</b> | <b>100.0</b> |

※ 赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この決算には含まれていません。

※ 災害時における受援体制の整備などを含めた災害機能強化のための社屋移転整備費用115,449千円については、施設整備準備資金積立金より充当するため含めておりません。

| 項目                  | 金額 (円)             | %            |
|---------------------|--------------------|--------------|
| 1 災害救護等の活動          | 99,831,661         | 29.5         |
| 2 国際救援事業            | 55,657,281         | 16.4         |
| 3 講習事業 (生命と安全を守る講習) | 14,172,252         | 4.2          |
| 4 赤十字ボランティア・青少年赤十字  | 23,008,353         | 6.8          |
| 5 活動資金増強及び広報活動      | 19,407,735         | 5.7          |
| 6 市町の赤十字活動          | 36,363,185         | 10.7         |
| 7 血液・医療事業           | 12,034,684         | 3.6          |
| 8 支部業務運営管理          | 33,749,040         | 10.0         |
| 9 庁舎・倉庫管理           | 11,645,189         | 3.4          |
| 10 翌年度繰越金           | 32,770,645         | 9.7          |
| <b>支出合計</b>         | <b>338,640,025</b> | <b>100.0</b> |

日本赤十字社三重県支部社屋・災害救護支援センター  
内観イメージ



三重県赤十字血液センター 内観イメージ



## 三重県の新しい赤十字活動拠点を建設中です

三重県支部と三重県赤十字血液センターは、災害救護体制の充実・強化や血液事業の災害時における事業継続という喫緊の課題に対応するため、津市あつたに移転整備を進めています。

血液センターは令和6年春に、三重県支部は令和6年秋にオープン予定です。

この新しい拠点が県民の期待に応え、県民から愛され、親しまれる場所となり、地域に開かれた施設となるよう各種取り組みを進めてまいります。

最新の情報は  
特設サイトで公開中



## 赤十字でつなぐ思い 遺贈・相続財産寄付を受け付けています。



近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」といった尊いお申し出が増えています。日本赤十字社は、このような尊い思いに応えるために遺贈、相続財産寄付を承っております。

### 遺贈

遺言によって財産の全部または一部を団体などの第三者に与えることを「遺贈」といいます。

※「遺贈」のご検討は、金融機関・弁護士・司法書士などの専門家へのご相談が安心です。

### 相続財産 寄付

相続により取得した財産の全部または一部を寄付することを「相続財産寄付」といいます。

ご寄付いただいた財産は非課税となる税制上の優遇措置があります。

### 遺贈者のお声

(80代、男性)

テレビで地震被害に遭われた人たちを見て、胸が引き裂かれるような思いだったとき、被災地で活動する日赤を見て、遺贈を決めました。

日赤なら1人でも多くの被災者を救ってくれると信じています。

### 相続寄付者のお声

(50代、女性)

「社会への恩返し」が口癖で、退職してからも、体調を崩すまでずっと地域のために活動し続けた父でした。

父の最期の願いを託され、多くはありませんが、日赤さんに寄付をしたいと思います。

お問い合わせ・資料請求 ▶

日本赤十字社三重県支部 (059-227-4145) までご連絡ください。

アンケートへのご協力をお願いします

ご協力いただいた方の中から抽選で  
**15名様にハートラちゃん  
デザインパスケース&緊急用ホイッスル  
をプレゼント!**

応募締切

令和6年5月31日(金)必着

WEBフォームまたはハガキでご応募ください。

WEB  
フォーム



ハ  
ガ  
キ

- ①お名前
- ②ご住所
- ③年齢
- ④本誌を読まれた経緯(回覧など)
- ⑤本誌へのご意見・ご感想
- ⑥今後掲載してほしい内容を記載のうえ、三重県支部あて郵送ください。

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。



日本赤十字社 三重県支部  
Japanese Red Cross Society

日赤みえ 発行元/日本赤十字社三重県支部  
〒514-0004 三重県津市栄町1-891  
TEL 059-227-4145 FAX 059-227-6245  
https://www.jrc.or.jp/chapter/mie/



X(旧Twitter)



ホームページ

発行日：令和5年10月31日